

第104回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】－1 選挙について

村長や議員の選挙のとき、投票率は何%を目指しているのか。また、選挙のときに指定される投票所が自宅から遠く、高齢者が行くのは大変である。簡単に投票に行けるよう、投票所の設置場所を見直してほしい。

⇒【村長コメント】

投票率は50%以上を目指したいと思っているが、現状は下回っている。有権者の半数が投票していないことは残念である。また、投票所の設置場所については、例えば、過疎地域では車を活用した移動式の期日前投票所を設けている事例もある。選挙に関することは選挙管理委員会で決めていることなので、ご意見として伺う。

【1】－2 議員定数などについて

村の議員定数が減った一方、議員報酬は上がったが、それはどのような意味があるのか。

⇒【村長コメント】

議員の定数や報酬は、議員間で検討して決めたことであり、私はそのことにコメントする立場にない。疑問に思ったことなどは、直接議員に話をしてほしい。

【2】 近所のネコについて

以前にも「村長ふれあいトーク」で話をしているが、近所の人が飼育しているネコが放し飼いにされており、自分の家の畑や庭で糞尿をして困っている。どうにかならないか。

⇒【村長コメント】

ネコの飼育については、マナーであり、しつけをしてほしいと言うことしかできない。対策として、ネコが“花壇では排泄できない”と学習するまで、花壇を何かで囲ってみてはどうか。

【3】 特筆事項なし

【4】－1 物価高騰対策について

物価高騰対策について、村独自の対策を実施する予定はあるか。

⇒【村長コメント】

村独自の対策を実施予定だが、その内容は、5月23日の臨時議会で承認を得た後に公表する。

【4】－2 原子力事業者の情報発信について

原子力事業者が事故等を起こした際は、住民に対してしっかり情報発信すべきではないか。

⇒【村長コメント】

事業者が事故等を起こした場合、その原因究明や再発防止策等に関する情報については、自社HPに掲載していることが多いと思う。また、個別訪問して情報を伝えている事業者もいるが、全ての事業者がそれをできるわけではない。事故等に関する情報については、役場もきちんと発信しているが、事業者自らが発信することが大事である。

【4】－3 役場の職員デスクのフリーアドレス化について

役場の職員デスクでフリーアドレスを導入したが、その理由や効果等は何か。

⇒【村長コメント】

役場における働き方改革の一環として取り組んだ。現在は地域戦略課のエリアだけだが、今後は隣の政策推進課まで拡大予定である。メリットは、個人デスクが無くなることによる書類ファイル等の共有化やペーパレス化の促進のほか、打ち合わせがしやすい点等が挙げられる。デメリットについては、現在のところ特に聞いていない。

【5】 学校のトイレについて

2年生が使用できるトイレは、2F（教室と同じ階）には無く、1Fにある。また、そのトイレの便器数は大1と小3（現在は小1つ故障中）で、給食が終わった後は、使用するのに列ができていく状況である。トイレを増やしてほしい。

⇒【村長コメント】

担当課を通して状況を確認の上、連絡する。

⇒【学校教育課コメント】

2年生のトイレが混雑することについては、運用上の工夫（クラスにより使用するトイレを分ける）をしており、この対応は今後も継続してまいります。

トイレの増設については、現状、対応が難しいことから、まずは水漏れが原因で使用を中止していた小便器の復旧対応を行いました。結果、現在は利用を再開し、小便器は3箇所利用が可能となっております。

今後も児童生徒の皆様が安全・安心な学校生活を送れるよう、学校施設の適切な維持管理に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【6】 特筆事項なし

【7】 洪水避難タワーについて

日立市神田町に洪水避難タワーがある。豊岡にも建設してはどうか。

⇒【村長コメント】

例えば、洪水避難タワーのような構築物を建てるのであれば、避難用としてだけでなく、何かと共用できるようなものが良いと思う。また、豊岡の久慈川付近は地盤が緩そうなので、構築物を建てるのではなく、堤防よりも高く盛土して高台にするのも良いと思う。ご意見として伺う。

【8】－1 教育予算について

村内の教育現場にいたことがあるが、現場は人手不足だと感じた。また、先生たちが「村の教育に対する予算が減っている」と話しているのを聞いたことがある。村の教育に関する予算について、どのように考えているか。

⇒【村長コメント】

村の教育に関する予算を総額で見た場合、ハード（施設改修等）の予算の有無によって大きく増減する。ハード以外のソフト（人件費等）の予算については減額していない。また、給食費については、物価高騰による影響があったが、村の予算で補填することで保護者負担分は変わらないようにした。

【8】－2 村への移住について

若い世代の方々に、東海村に住んでもらえるようにしていくことが必要だと思うが、どのように考えているか。

⇒【村長コメント】

R4年度から、村外からの若い世代の転入者に対して、引っ越し費用等として20万円を助成する制度を始めた。また、村は以前から子育てや教育環境が充実していると評判であったが、これからも若い世代の方々に選んでもらえるような行政サービスをしていくことが必要だと考えている。